

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和3年6月3日（木）

2 確認箇所

- ・瓦礫類一時保管エリアAA
- ・1／2号機超高压開閉所付近

3 確認項目

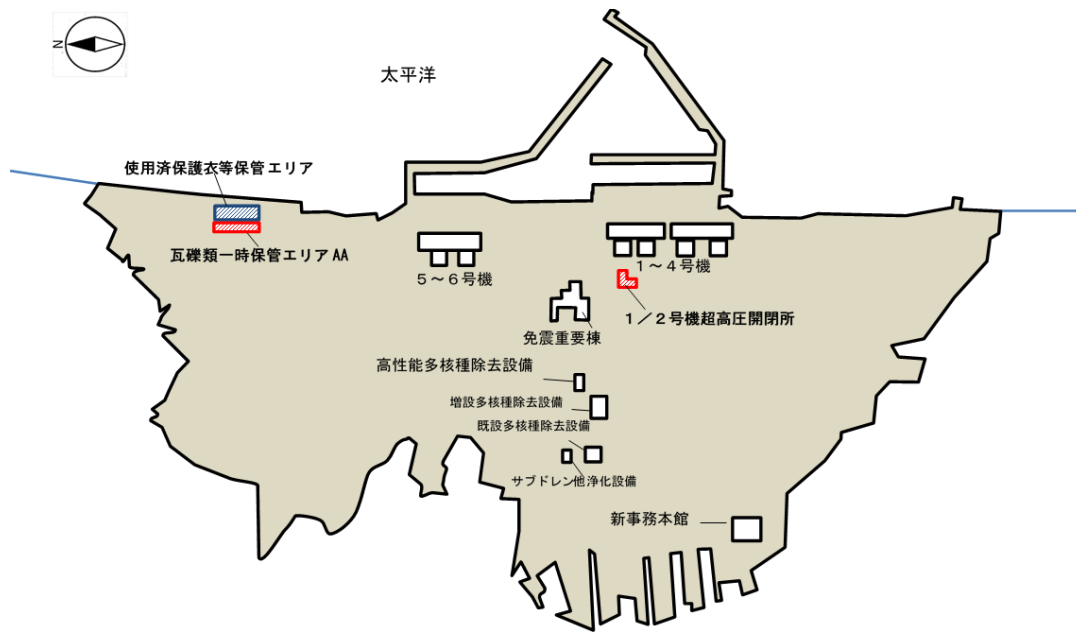
- (1) 地震発生後の状況確認
- (2) 1／2号機超高压開閉所東側における不明物品の確認

4 確認結果の概要

(1) 地震発生後の状況確認について

令和3年2月13日の福島県沖を震源とする地震により瓦礫類一時保管エリアAAの瓦礫コンテナに転倒及び傾きが発生したことから、前回（4月8日）に引き続き状況を確認した。（図1）

- ・確認した範囲で瓦礫コンテナに新たな転倒や傾きは見られず、エリアAA入口には引き続き立入禁止の措置が講じられていた。（写真1）
- ・隣接する使用済保護衣等保管エリアには一部のコンテナが移動されており、また、エリアAAではクレーン車等を用いて空きスペースにコンテナを移動する作業が行われていた。（写真2）



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1-1)
エリア西側のコンテナの転倒及び傾きの状況 (北西側から撮影)



(写真1-2)
入口の立入禁止措置の状況 (北西側から撮影)



(写真 2 - 1)
使用済保護衣等保管エリアの前の
状況（北側から撮影）
（4月8日撮影）



(写真 2 - 2)
同左
今回の状況（6月3日撮影）



(写真 2 - 3)
エリア西側のコンテナの転倒及び傾
きの前の状況（北東側から撮影）
（4月8日撮影）



(写真 2 - 4)
同左及び作業の状況（北東側から撮
影）
（6月3日撮影）

(2) 1 / 2 号機超高压開閉所東側における不明物品の確認について

令和3年5月28日のパフォーマンス向上会議^{*}にて、東京電力が不明物品調査業務において、1 / 2 号機超高压開閉所東側に不明物品（コンクリートウェイト）が発見され、その中の1つは表面線量率が最大10mSv/hであることが報告されていたため、保管状況や周囲の状況を確認した。（図1）

- ・保管されている10個のコンクリートウェイトのうち、1つについては遮へい材で覆う措置が講じられていた。（写真3）

^{*} 東京電力社内で実施されている不適合（本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為（判断）とは異なる行為（判断））を審議する会議のことで、安全性・信頼性に関する重要度等を考慮して3つのグレードに分類し、東京電力ホームページ等で公表している。なお、本件は最も軽微な事象であるグレードに分類されている。



(写真3)
遮へい材が被せられたコンクリート
ウェイト（北側から撮影）

- 5 プラント関連パラメータ確認
各パラメータについて、異常な値は確認されなかった。